科学衛星を用いた宇宙背景放射(CMB)偏光精密測定計画 LiteBIRDサイエンスと衛星概要

Lite (light) satellite for the studies of B-mode polarization and Inflation from cosmic background Radiation Detection LiteBIRD ワーキンググループ (2008年9月設立)

サイエンス

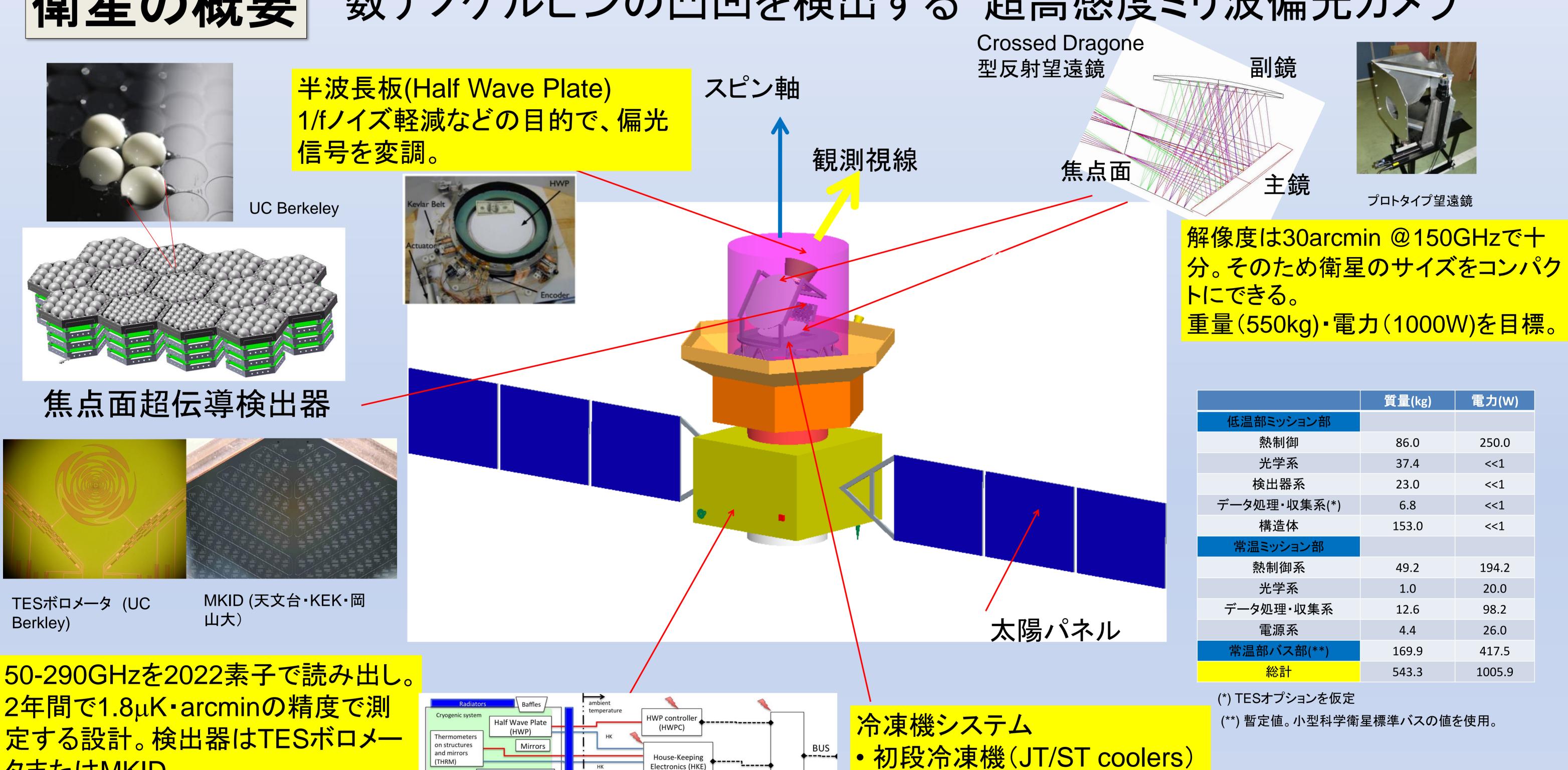
ビックバンより前に起きたインフレーションにより原始重力波が生じたと考えられる。そ れは宇宙背景放射(CMB)にBモード偏光という特殊な偏光パターンを残した。右図は、 各種インフレーションモデルが予言するBモードスペクトルである。主要な代表的モデル* 🖫 10⁻¹ は、テンソル・スカラー比0.001以上を予言する。

LiteBIRDはCMBの偏光を精密に測定することにより、Bモード信号強度からテンソル・ スカラー比を0.001の精度で測定することを目標とする。そのためには、実験感度2μK・ arcmin、角度分解能30 arcmin(@150GHz)、全天観測、60-270GHz、帯域幅30%の多 周波数同時観測が必要である。

(*) Large single filed slow roll models

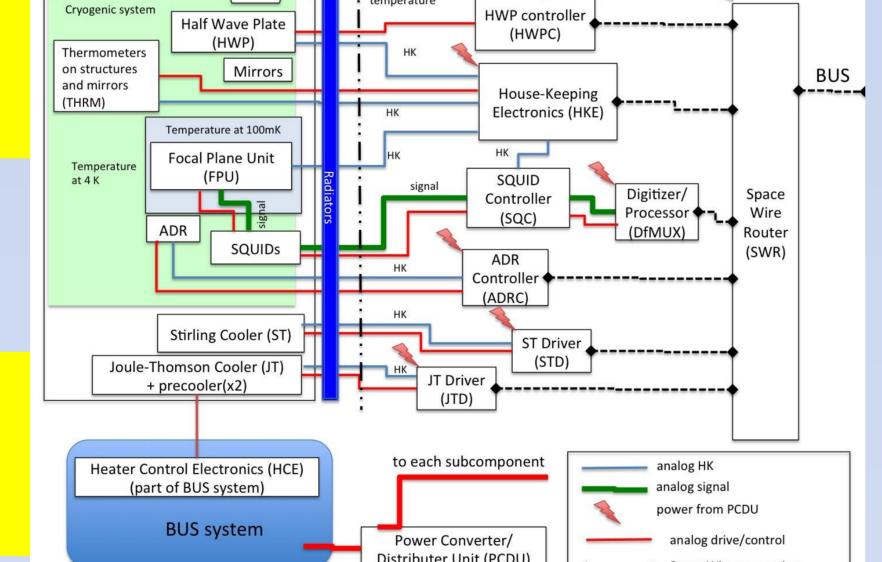
Power Law Chaotic (p=1) SSB (N_e=47-62) Chaotic (p=0.1) 10⁰ LiteBIRD: - $\frac{\widehat{O}_{C}}{\widehat{O}_{C}} 10^{-2}$ r = 0.0110⁻⁵ 10001500 multipole, l

衛星の概要 数ナノケルビンの凸凹を検出する"超高感度ミリ波偏光カメラ"



2年間で1.8μK•arcminの精度で測 定する設計。検出器はTESボロメー タまたはMKID。

> バスユニット (スペースワイ ヤーを用いた読み出し回路・ 姿勢制御装置•通信機器)

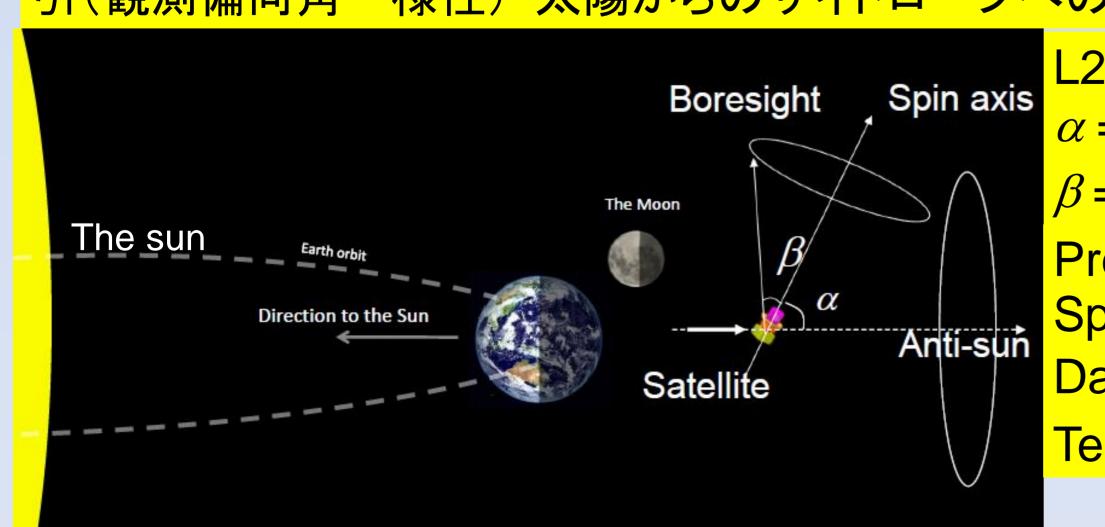


日本独自の冷凍機と熱制御技術により、CMB観測 衛星としては画期的に小型軽量なものを目指す

· 断熱消磁冷凍機(ADR)

LiteBIRD衛星の全天スキャン方法

全天を万遍なく観測(スキャンー様性):ある空のピクセルを一様な方向から掃 引(観測偏向角一様性)・太陽からのサイドローブへの入り込みを最小限にする。

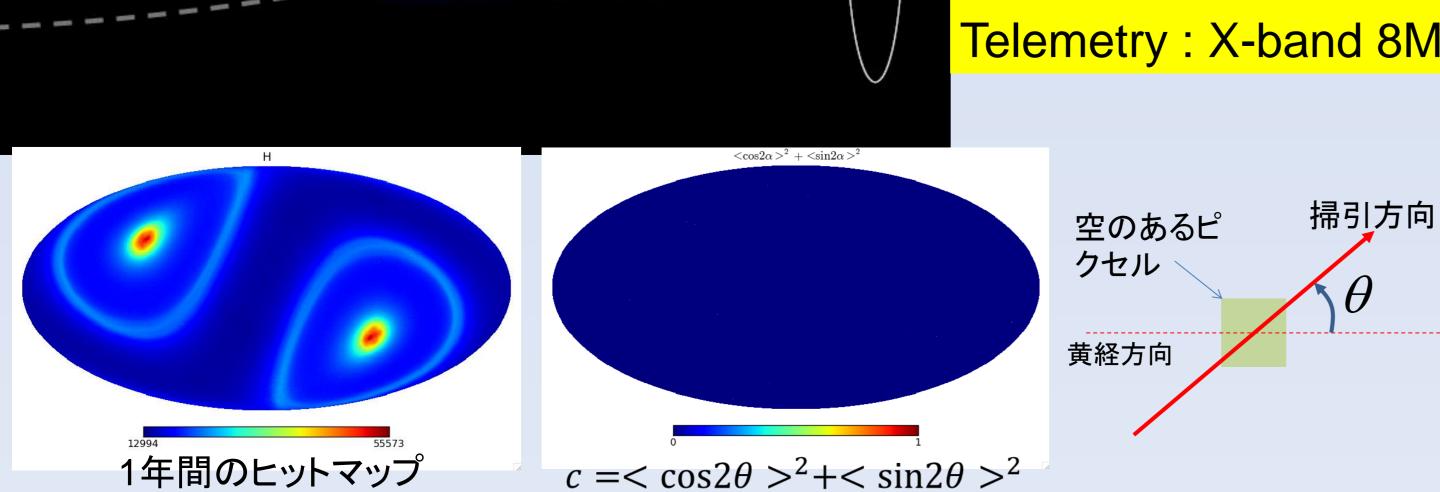


L2の場合: α = 65 deg. β = 30 deg.

Precession: ~90 min. Spin rate: 0.1 rpm

Data rate: 330kbps

Telemetry: X-band 8Mbps



LiteBIRDワーキンググループ

